

株式会社 出石まちづくり公社

決算書類

第 27 期

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

〔報告事項〕

第 27 期営業報告（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日まで）

I. 背景と成果

令和 6 年度年次経済財政報告によると我が国経済は、コロナ禍の影響から脱した後、企業収益が過去最高を更新し、設備投資も 33 年ぶりに 100 兆円を超えるなど、企業部門が堅調さを維持しており、基調として緩やかな回復が続いている。しかしながら、家計部門においては、名目賃金の伸びが物価上昇に未だ追いついていないことから、個人消費は力強さを欠いた状態が続き、景気の回復力は弱い状態が続いている。こうした状況の中、円安は歴史的な水準まで進み、これが輸入物価を通じて国内物価を押し上げることにより、家計の購買力の低下とともに、消費が更に下押しされる可能性がある。また、中小企業等にとっては、価格転嫁を行えなければ、原材料コストの上昇を通じて収益が圧迫されるリスクがある。春季労使交渉においては 33 年ぶりの賃上げ水準が実現するなど、物価と賃金の好循環の実現が近づきつつある中で、持続的な賃上げと活発な投資がけん引する民需主導の自律的な成長型経済に移行する千載一遇のチャンスを実現できるか、日本経済は今まさにその正念場にあるとの報告ではありますが、都市部とは違い、地方における経済状況は依然厳しい現状が続いているように思われます。

そのような状況の中、当地におきましては今年度来訪観光客入込総数 581,000 人（昨年より 18,000 人増）となり、前年度からは来訪観光客が微増しました。

今期全体売上は、259,676,684 円（前年対比 109.7%）となり、営業目標を上回る結果を残す事ができました。

また、今年度は、経常利益 17,284,097 円、当期純利益 12,300,946 円（前年対比 137.6%）となり、増収増益という結果になりました。具体的には、11 月秋の行楽シーズンと永楽館歌舞伎開催の影響もあり、単月で大きな営業成果を得られたのが、今年度の収益増に繋がりました。一方、2 月は大雪などの影響もあり来訪観光客の入込も悪く課題が残る期間となりました。

今年度は特に以下の事を重点的に取り組みました。

「ひょうごフィールドパビリオン」に向けての観光コンテンツ開発については、地域内資源である有子山城・出石城を主体とする謎解きガイドツアーの企画、FAM ツアー実施及び意見交換会開催、PR パンフレット作成、プレスリリースなど取り組みました。

有子山城築城 450 周年事業実行委員会との連携・協力については、有子山城ハイキングツアーの企画販売、イベント事業設営等協力、周年記念グッズ製作販売・記念御城印、ミニのぼり等販売、町民・地元企業協賛に対する返礼品の企画作成など積極的に取り組みました。

インバウンド受入環境整備の推進については、訪日観光客向けアンケートの継続実施、季節先取りパンフレットの製作、近隣宿泊施設の宿泊者向けインバウンド商品提案と販売に取り組みました。

BCP 計画の策定については、商工会出石支部を通じて防災の専門家を招聘、その指導の下各諸団体と連携し、大地震を想定した「出石町観光危機管理計画」の素案を作成しました。

「永楽館歌舞伎公演」への積極的な運営連携と広報活動の強化については、今年度 8 日間 15 公演を開催し、4,719 枚を販売（89.3%）しました。完売とはならなかったものの、新規のお客も増え新たな顧客層の開拓に繋がりました。次年度公演につきましては、例年から開催時期を変え、9/30 から 10/5 の 6 日間 11 公演の開催となりますが、より各方面に積極的な情報発信に努め、観劇チケット完売を目指して参ります。

II. 当社の概要 (令和7年3月31日現在)

(1) 資本金

区 分	当 期 末
資 本 金	98,000,000 円

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,960 株
当期末株主総数	332 名

大 株 主	保有株数	持ち株比率
豊 岡 市	400 株	20.40%
NPO 法人但馬國出石観光協会	100 株	5.10%
豊 岡 市 商 工 会	60 株	3.06%

(3) 役員 of 状況

役 職 名	役 員 名
代表取締役社長	榮 木 健 二
代表取締役副社長	古 田 智 久
取 締 役	永 井 秀 和
取 締 役	田 中 覚
取 締 役	中 易 裕 明
取 締 役	永 澤 仁
取 締 役	遠 藤 朱 実
監 査 役	宮 崎 雅 巳
監 査 役	佐 古 忠 隆

(4) 従業員の状況

区 分	人 数	構 成
正 社 員	8 人	男性 5 人 女性 3 人
契 約 社 員	3 人	女性 3 人
パ ー ト 社 員	7 人	女性 7 人
合 計	18 人	

シルバー人材センター (派遣)	6 人	男性 6 人
観 光 ガ イ ド	3 人	男性 1 人 女性 2 人

(5) 事業内容

1. まちづくり活性化推進事業
2. 出石観光散策ガイド事業
3. 総合観光案内事業
4. 「いずし観光センター」物産販売事業
5. 「和カフェ」飲食販売事業
6. 「出石びっ蔵」集合貸店舗事業
7. 「大手前駐車場」運営事業
8. 「いずしトラベルサービス」旅行業
9. 「出石永楽館」受託管理運営事業

(6) 主な地域貢献事業

1. 有子山城跡を登ろう会活動補助	4.7万円
2. 全国子ども落語大会協賛	3万円
3. 出石秋祭りだんじり実行委員会	3万円
4. 出石歴史文化交流館（武家長屋）	14.4万円
5. 出石初午祭奉賛会	45万円
6. 新そば祭り協賛	5.5万円
7. 出石高校永楽館歌舞伎学割補助	39.5万円
合 計	115.1万円

(7) 教育機関連携協力事業

1. 出石中学校トライやる協力（5日間）
2. 出石高校インターンシップ受け入れ（3日間）
3. 出石高校地域探究ⅠⅡ授業講師協力（2学期）3テーマ×8回

[決議事項]

第1号議案 第27期計算書類承認の件

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(1) 貸借対照表

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 73,649,652】	【流動負債】	【 17,668,556】
現金及び預金	59,313,367	買掛金	7,420,083
売掛金	1,614,624	未払金	3,386,774
商品券	1,000	前受金	233,690
商品	6,046,566	預り金	933,409
貯蔵品	149,148	法人税等充当金	3,437,700
前払費用	227,965	未払消費税	2,256,900
未収入金	3,984,233	【固定負債】	【 6,614,457】
仮払金	2,312,749	長期借入金	4,063,000
【固定資産】	【 202,463,663】	預り保証金	2,551,457
(有形固定資産)	(196,118,663)	負債の部計	24,283,013
建物	13,526,440	純資産の部	
建物附属設備	4,327,478	【株主資本】	【 251,830,302】
構築物	24,700	[資本金]	[98,000,000]
什器備品	11	[利益剰余金]	[153,830,302]
一括償却資産	880,034	利益準備金	24,500,000
建設仮勘定	550,000	(その他利益剰余金)	(129,330,302)
土地	176,810,000	退職給付積立金	4,405,000
(投資その他の資産)	(6,345,000)	まちづくり積立金	6,193,000
出資金	10,000	別途積立金	95,000,000
保証金	3,550,000	繰越利益剰余金	23,732,302
保険積立金	2,785,000	(うち当期純利益)	(12,300,946)
		純資産の部計	251,830,302
資産の部計	276,113,315	負債・純資産の部計	276,113,315

(2) 損益計算書

(単位：円)

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

科 目	金	額
【売上高】		
売上高	215,677,306	
飲食売上	15,482,303	
案内等収入	2,817,850	
レンタル収入	1,046,350	
駐車場売上	24,652,875	259,676,684
【売上原価】		
期首棚卸高	4,943,507	
仕入高	140,941,705	
材料費	6,634,804	
合計	152,520,016	
期末棚卸高	6,046,566	146,473,450
売上総利益		113,203,234
【販売費及び一般管理費】		99,744,348
営業利益		13,458,886
【営業外収益】		
受取利息	35,630	
受取手数料	1,078,000	
雑収入	3,273,637	4,387,267
【営業外費用】		
支払利息・割引料	64,099	
寄付金	400,000	
雑損失	97,957	562,056
経常利益		17,284,097
税引前当期純利益		17,284,097
法人税等充当額		4,983,151
当期純利益		12,300,946

(3) 販売費及び一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

科 目	金 額	
役 員 報 酬	1,380,000	
給 料 手 当	32,563,800	
福 利 厚 生 費	8,100,551	
雑 給	15,572,495	
シルバー委託費	5,941,975	
広 告 宣 伝 費	1,732,722	
運 賃	280,897	
燃 料 費	67,690	
衛 生 費	460,647	
購 読 費	42,900	
水 道 光 熱 費	7,531,407	
事 務 費	1,615,790	
消 耗 品 費	2,263,130	
地 代 家 賃	600,000	
支 払 保 険 料	633,047	
修 繕 費	272,200	
租 税 公 課	8,223,950	
減 価 償 却 費	3,144,866	
繰 延 資 産 償 却 費	172,800	
接 待 交 際 費	1,258,892	
旅 費 交 通 費	344,005	
通 信 費	804,225	
支 払 手 数 料	2,510,100	
賃 借 料	733,710	
諸 会 費	619,010	
舞 台 維 持 費	1,595,000	
会 議 費	16,703	
雑 費	1,261,836	
合 計		99,744,348

株主資本等変動計算書

株式会社 出石まちづくり公社

(単位：円)

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

	株 主 資 本					株 主 資 本 合 計	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金				
当期首残高	98,000,000			24,500,000	118,499,356	240,999,356			240,999,356
当期変動額									
剰余金の配当					△1,470,000	△1,470,000			△1,470,000
当期純利益					12,300,946	12,300,946			12,300,946
当期変動額合計					10,830,946	10,830,946			10,830,946
当期末残高	98,000,000			24,500,000	129,330,302	251,830,302			251,830,302

	利 益 剰 余 金 の 内 訳					
	利 益 準 備 金	退 職 給 付 積 立 金	そ の 他 の 任 意 積 立 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計
当期首残高	24,500,000	4,405,000	6,193,000	93,000,000	14,901,356	142,999,356
当期変動額						
剰余金の配当					△1,470,000	△1,470,000
剰余金の内訳科目間の振替				2,000,000	△2,000,000	0
当期純利益					12,300,946	12,300,946
当期変動額合計				2,000,000	8,830,946	10,830,946
当期末残高	24,500,000	4,405,000	6,193,000	95,000,000	23,732,302	153,830,302

(5) 個別注記表

株式会社 出石まちづくり公社

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料……最終仕入原価法による原価法

商品……最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に
取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産……定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額……59,515,462円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

①当事業年度末日における発行済株式の数……1,960株

②当事業年度末日における自己株式の数……0株

③当事業年度中に行った剰余金の処分に関する事項

令和6年6月24日開催の第26期事業年度の定時株主総会で決議

配当金の総額(年1.5%)……1,470,000円

別途積立金の積立額……2,000,000円

④当事業年度末日以後に行う剰余金の処分に関する事項

令和7年6月24日開催予定の第27期事業年度の定時株主総会で決議予定

配当金の総額(年2.0%)……1,960,000円

配当の原資……利益剰余金

1株当たりの配当金……1,000円

配当基準日……令和7年3月31日

退職給付積立金……1,600,000円

別途積立金の積立額……10,000,000円

繰越利益剰余金……10,172,302円

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額……128,484円84銭

1株当たりの当期純利益金……6,275円99銭

監 査 報 告

私監査役は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第27期事業年度における貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告および附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和7年6月2日

監査役 宮 崎 雅 巳

監査役 佐 古 忠 隆

報 告 書

以上のとおりご報告申し上げます。

令和7年6月24日

株式会社 出石まちづくり公社

代表取締役社長 柴木 健二

代表取締役副社長 古田 智久

取締役 永井 秀和

取締役 田中 覚

取締役 中易 裕明

取締役 永澤 仁

取締役 遠藤 朱実

第2号議案 剰余金処分承認の件

剰余金処分案

(単位：円)

科 目	金	額
当期末処分利益の処分		
【繰越利益剰余金】		23,732,302
【利益処分額】		
株主配当金(年2.0%)	1,960,000	
退職給付積立金	1,600,000	
別途積立金	10,000,000	13,560,000
【次期繰越利益】		10,172,302

上記のとおりご提案申し上げます。

令和7年6月24日

株式会社 出石まちづくり公社

代表取締役社長 榮木 健二

第3号議案 取締役任期満了につき8名選任の件

取締役7名は、本総会の終了をもって任期満了となりますので、次のとおり候補者を提案します。

榮 木 健 二
 古 田 智 久
 永 井 秀 和
 田 中 覚
 中 易 裕 明
 永 澤 仁
 佐 古 忠 隆
 渋谷 順 子

第 4 号議案 監査役任期満了につき 2 名選任の件

監査役 2 名は、本総会の終了をもって任期満了となりますので、次のとおり候補者を提案します。

石 田 伊久雄
木之瀬 晋 弥

第 5 号議案 退任役員に対して退職慰労金贈呈の件

当社の規定により下記のとおり支給します。

遠 藤 朱 実 30,000 円

第 6 号議案 第 28 期営業計画案承認の件

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

令和 7 年度 (2025 年度) の日本の観光業は、国内外の旅行需要が回復し、過去最高の水準に達する見込みです。JTB の旅行動向見通しによると、訪日外国人旅行者数は前年比 8.9% 増の 4,020 万人に達し、過去最高を更新する見通しです。また、国内旅行者数は同 2.7% 増の 3 億 5,000 万人、海外旅行者数は同 8.5% 増の 1,410 万人と予測されています。

そのような状況の中、出石観光においては令和 7 年 3 月に策定された「豊岡市出石地域観光戦略」では、2030 年までに来訪観光客数 70 万人を目標として掲げました。

その目標のもと弊社としては、持続可能な観光まちづくりを軸として、新たな来訪観光客層の開拓の為、「地域内資源を用いた観光コンテンツの開発と情報発信」に取り組んで参ります。

また、今年度 6 月より土日祝日限定で 1 日 2 回「定時まち歩きガイド」を行い、城下町出石の魅力発信と新たなファンづくりの開拓に努めます。

今後の出石観光においては、様々なニーズに合わせた観光ガイドの充実が求められます。その為、今年度出石振興局と連携し、地元住民向けの「まちあるきガイドツアー」を開催し、新たな観光ガイドの確保と育成に努めます。

未来の人材育成と郷土愛育む取り組みとして、今年度も継続して地域の中学・高校との連携を図り、「トライやるウィーク」「出石高校インターンシップ」「出石高校地域探究授業」など積極的に受入れて参ります。

昨年度策定した豊岡市出石町観光危機管理計画 (BCP) に基づき各諸団体と連携し、地震などの災害を想定した訓練を実施します。

営業面では今期全体売上で2億6,000万円を目標に、増収増益を目指し役職員一丸となって取り組んで参ります。営業目標を達成するためにも、昨年同様引き続き取り組んでいくべき事、そして新たに挑戦していく事をしっかり見極め、営業上の成果に結び付けたいと思います。

今期はこれらの背景や情勢を踏まえ、以下の事を重点的に取り組めます。

《令和7年度における重点事業項目》

- ・地域内資源を用いた観光コンテンツの開発と情報発信
- ・まち歩き定時ガイドの充実と新たな観光ガイドの育成
- ・永楽館歌舞伎公演への積極的な運営連携と広報活動の強化
- ・地元教育機関との連携した地域愛育む人材育成の推進
- ・豊岡市出石町観光危機管理計画（BCP）の実施と訓練
- ・ひょうごフィールドパビリオン認定ツアーの実施
- ・インバウンド受入環境整備の推進

上記のとおりご提案申し上げます。

令和7年6月24日

株式会社 出石まちづくり公社